



多機能型事業所 つよし共働センター



多機能型事業所(就労継続支援B型、生活介護)

つよし共働センター 鉄腕DASH THE 米作り

つよし共働センターのSDGs【目標15:陸の豊かさを守ろう】の取り組みについて紹介します。

つよし共働センターでは、地域の農地をお借りし有効活用させて頂きとうもろこし、お米(ひのひかり)、もち米作りに取り組んでいます。

お米、もち米作りでの田植えについて紹介します。

しろかき(代掻き)をして田植えの準備の出来た田んぼに水の澄むのを待って水を抜き、成長した苗を田んぼに移植する作業が「田植え」です。

今回は、初の手植えに挑戦しました。

手植えを行う前にまず利用者の方が植えやすいように線を引く道具を利用者の方と一緒に作成しました。線引きを終えたところから職員が手植えをする様子を利用者の方にみてもらい次に職員から利用者に手渡し植えていきました。嬉しそうな方、不安そうな方と様々見られましたが、終わった後は達成感を味わうことができ笑顔で終了する事ができました。

また、昔から米という字を分解すると「八十八」という文字がつくれます。お米ができるまでには88回もの手間がかかるという意味も知ることでもでき手植えを通して利用者の方に伝えられることと同時に職員も勉強ができました。最後になりますが、言葉で伝える事、体験で伝わる事を私たち職員も感じる事ができたこと、手植えを通して手足を泥につけることで免疫機能も向上するという効果が期待されることも昔からある事も知る事ができました。「食」だけでなく「職」という生きがいを通して、今後も「食の喜び」と「職の楽しみ」をかね合いながら地域貢献に努めていきたいと思います。

15 陸の豊かさを守ろう



目標15 陸の豊かさを守ろう

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



まずは、職員が手本となり手植えをしていく様子



笑顔で苗運び中～



利用者から職員へ苗渡し



新米を羽釜で炊いています～



美味しく炊き上がりました

職員紹介

つよし共働センター
野田 邦明

趣味

写真撮影、魚釣り

仕事内容

生活支援員

抱負

優しく寄り添う



忙中閑有

つよしの
仲間たちです。
よろしく
お願いします。

